

# 座って学ぶ 椅子学講座

—ムサビ近代椅子コレクション400脚—

毎日の暮らしを支える椅子から  
本当に豊かな生活とはなにかを考えてみませんか？

武蔵野美術大学 美術館・図書館では、1967年の開館以降近代椅子の収集を始め、現在では約400脚のコレクションを形成しています。

講師に、本学名誉教授であり、当館の近代椅子コレクションの収集に中心に関わっていただいた島崎信氏をお迎えして、私たちの生活に一番身近な存在である「椅子」に焦点を当て、それらの椅子について全6回の連続講座を開きます。

| 講座日  | 第1回                      | 第2回  | 第3回   | 第4回    | 第5回    | 第6回    |
|------|--------------------------|------|-------|--------|--------|--------|
|      | 5月28日                    | 7月2日 | 9月17日 | 11月12日 | 12月10日 | 12月17日 |
| 時 間  | いずれも14時～17時              |      |       |        |        |        |
| 講 師  | 島崎信(武蔵野美術大学名誉教授)         |      |       |        |        |        |
| 参加方法 | 事前申し込み制(詳細はチラシ裏をご確認ください) |      |       |        |        |        |

連続講座

# 座って学ぶ 椅子学講座 ―ムサビ近代椅子コレクション400脚―



毎回約40脚を取り上げ、椅子の生まれた背景や技術、加工方法、そして同時代のデザイン資料や貴重書なども合わせて、当時の様子をひも解くと共に、座り方や椅子を通した振る舞い方といった“日常生活の物を長く大切に使う”という観点からお話する予定です。さらに、参加者の方にはそれらの椅子に実際に座りながら、今日の暮らしの中の道具について考える機会になることを目指します。

第1回5月28日近代椅子の源流

第I章 4つの潮流

1 近代椅子とその源流

2 明代の椅子 (ca.1600～) とハンス・ウェグナー

3 ウィンザーチェア

4 シェーカーチェアとボーエ・モーエンセン

5 トーネット No.14 と曲げ木加工

第II章 産業革命と生活工芸

1 アーツ&クラフツ運動の興り

2 グスターブ・スティックレー

3 チャールズ・マッキントッシュの「ヒルハウスチェア」

4 フランク・ロイド・ライトと自由学園

第2回7月2日建築と椅子

第I章 芸術と様式

1 建築家と芸術運動

―ウィーン分離派から新造形主義まで―

2 オットー・ワーグナー

3 ヨーゼフ・ホフマンのウィーン工房

4 アドルフ・ロースの装飾批判

5 ヘリト・トーマス・リートフェルト

第II章 バウハウスの思想

1 バウハウスの教育と機能主義

2 マルセル・ブロイヤーのカンティレバー

3 ミース・ファン・デル・ローエの哲学

4 ジャン・ブルーヴェの独創性

5 ル・コルビジエとピエール・ジャンヌレ

第III章 生活文化の芸術

1 日本のあたらしい生活文化、タウトと型而工房

2 シャルロット・ペリアンと柳宗理

3 「選択 伝統 創造」展

4 坂倉準三と長大作

5 新居猛とニイチェア／渡辺力

第3回9月17日北欧における近代椅子の伝統と産業 PART1

第I章 デンマーク王立芸術アカデミーの系譜

1 デンマークモダンデザインの父、コーレ・クリント

2 モーゲンス・コックとサファリチェア

3 オーレ・ワンシャとポール・ケアホルム

4 アルネ・ヤコブセンと戦後

5 ボーエ・モーエンセンとハンス・ウェグナー

6 ヴェルナー・パントン

第II章 デザイナーと職人、工房や 組合、販社との関係性

デンマーク

1 F.D.B. (デンマーク協同組合連合会) の椅子

2 A.J. イヴァーセンとオーレ・ワンシャ

3 ハンス・ウェグナーを支えた職人

4 ニールス・ヴォッターとフィン・ユール

5 フリッツ・ハンセンとアルネ・ヤコブセン

第4回11月12日北欧における近代椅子の伝統と産業 PART2

第I章 フィンランド、スウェーデンの家具

フィンランド

1 Artekの目指すもの

―Art & Technologyというクラフトマンシップ

●アルヴァ・アアルトとオットー・コルホーネンの共同実験

●「パイミオ」とL-レッグ、X-レッグの考案

2 “finternational”-asko社

エーロ・アールニオ、イルマリ・タピオヴァーラ

3 ユリオ・クッカプロ「カルセリチェア」

4 アンティ・ヌルメスニエミ「サウナスツール」

スウェーデン

5 スウェーデンの地域性と歴史

6 カール・マルムステンの考える暮らしと道具のあり方

7 エリック・グンナール・アスプルンド

8 ブルーノ・マッソンと天童木工

9 インゲ・エクストローム

10 オーケ・アクセルソン

第5回12月10日時代がもたらした椅子

第I章 アメリカの椅子―技術が生んだ彫刻的な形状―

1 アメリカへ渡ったエリエル・サーリネン

2 エーロ・サーリネン、フローレンス・ノールとKnoll 社

3 ジョージ・ネルソンとハーマンミラー社

4 チャールズ・イームズ、

三次成形合板からファイバーグラスの利用

5 ハリー・ベルトイアのワイヤーチェア

6 イサム・ノグチ

7 ジョージ・ナカシマと桜製作所、Knoll 社

第6回12月17日現代的な椅子の始まり

第I章 椅子の概念と解釈の広がり

1 オリヴィエ・ムルグ「ジン」

2 ピエール・ポーラン「リボンチェア」

3 アキッレ・カスティリオーニ「メツァードロ」

4 フランコ・テオドーロ「サッコ」

5 ガエターノ・ペッシェ「ドンナ」

6 デュ・バ「ブロー」

第II章 イタリアの椅子―フォルムと実用性―

1 イタリアの家具会社の特徴

2 ジャンカルロ・ピレットが追求した機能性

3 インジェクションによる椅子、

コロombo「ユニバーサルチェア」

4 工業デザイナー、マリオ・ベリーニの仕事

5 ヴィコ・マジストレッティ

6 フィリップ・スタルク「Mr. インボッシブル」

※内容については変更することもございます。

武蔵野美術大学 美術館・図書館のコレクションの1つの柱として近代椅子があるのはご存知でしょうか。

当時大学で教鞭を執っていた35年間、のちに主要コレクションとなる近代椅子の収集に大きく関わり、0から始まった椅子も現在では約400脚を数えるまでになりました。近年の日本においてこの規模のコレクションを有しているミュージアムは希少ではないでしょうか。今回、美術館・図書館の依頼により連続講座を設けることになりました。過去に開催したコレクションを紹介する展覧会「名作椅子に座る」(武蔵野美術大学美術資料図書館、1998年)や「名作椅子130脚に座る」(リビングデザインセンターOZONE、2002年)から20年弱を経た当講座では、さらに充実したコレクションを広く皆さまに知っていただくきっかけと共に、これからの生活を豊かにしていくための考え方をお伝えする機会になればと考えております。

島崎信(武蔵野美術大学名誉教授)



#### 【略歴】

武蔵野美術大学名誉教授。東京都生まれ。1956年東京藝術大学卒業、東横百貨店(現東急百貨店)家具装飾課入社。1958年JETRO海外デザイン研究員として日本人で初めてデンマーク王立芸術大学に所属、1960年同建築科修了。帰国後、島崎信デザイン研究所を設立(現在に至る)。国内外でインテリアやプロダクトのデザイン、東急ハンズ、アイデックなどの企画立ち上げに関わる傍ら、武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科で教鞭を執る。また、家具や生活用品に関するデザイン展覧会やセミナーを多数企画。北欧やデザイン関連の著作も多数に及ぶ。日本フィンランドデザイン協会理事長、北欧建築デザイン協会理事、鼓童文化財団理事長、有限会社島崎信事務所代表、NPO法人東京・生活デザインミュージアム理事長。主な著作『美しい椅子1〜5』『一脚の椅子・その背景 モダンチェアはいかにして生まれたか』『デンマーク デザインの国』『ウィンザーチェア大全』など。

## 募集要項

### 講 座 日

第1回 5月28日(土) 第2回 7月2日(土) 第3回 9月17日(土) 第4回 11月12日(土) 第5回 12月10日(土) 第6回 12月17日(土)

### 時 間

いずれも14時～17時

### 会 場

武蔵野美術大学美術館 第10講義室

### 講 師

島崎信(武蔵野美術大学名誉教授)

### 定 員

各回40名 ※抽選／定員を超えた場合は継続して参加いただける方を優先させていただきます。

### 参 加 費

無料

### 対 象

**この連続講座は、4万点をこえる所蔵品の中から椅子に着目し、約400脚という膨大かつ貴重なデザイン資料群の公開と普及を目指して企画しました。**

暮らしを支える椅子から改めて“生活”を考える1つのきっかけになれば幸いです。これらの趣旨にご賛同いただき、下記の**いずれか**に当てはまる方を中心に募集します。

- 当館コレクションを社会に周知することにご協力いただける方
- マスコミや編集者などのプレス関係者の方
- 教育機関において椅子を知る喜びを広めてくださる方
- 椅子の製作販売に携わっている方
- 生活デザイン資料の中でも特に椅子の知識を習得したい方

※時代順にお話をする予定ですので、6回連続での参加をお願いいたします。

### 申 込 方 法

下記必要事項をご記入の上、メールでの事前申し込み

**締切日:4月27日(水)**

- 氏名(ふりがな)
- 年齢
- 職業
- 住所
- 電話番号
- メールアドレス
- 参加講座日
- 志望動機を簡単にまとめたもの(800字以内)

※5月11日(水)までに抽選結果のお知らせをいたします。

### 送 付 先 お問合せ先

武蔵野美術大学 美術館・図書館

美術チーム 植松、菊池

[ml\\_event@musabi.ac.jp](mailto:ml_event@musabi.ac.jp)

〒187-8505 東京都小平市小川町1-736 TEL 042-342-6003 FAX 042-342-6451 <http://mauml.musabi.ac.jp/>